

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
381		同和行政事務事業	01		一般会計
			03		民生費
基本施策	39	部落差別の解消に向け、同和行政を推し進める。	項目	03	同和行政費
			細目	01	同和行政総務費
			細目	101	同和行政経費
			細々目	01	同和行政事務経費
担当部課名	伊賀支所 人権同和課				
作成者氏名	増森 和吉	連絡先	0595-45-9108		

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)			
	同和地区住民、差別をなくす運動団体	部落問題の解消により、地区住民の生活の安定と福祉の向上が図られる。			
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車運転免許取得費助成 ・就職支度金助成 ・火葬場利用助成 ・部落解放団体の育成支援助成 ・大型共同作業場協議会の運営 				
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.5	0.5	
人件費合計(A)	3,600	3,600	0
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	7,279	6,793	0
委託料	0	0	
負担金、補助	7,050	6,600	
その他	229	193	
合計(A+B)	10,879	10,393	0
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財	780	780	
一般財源	10,099	9,613	0
上記①～③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
部落解放団体との相談協議	回	5	6	6			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H23(目標)
被就業率(H12伊賀町生活実態調査)	仕事を休んでいた(12人)＋働いていない(198人)／対象人数(534人)	%	37.5 目標 ()	35	30
被差別体験の有無(H12伊賀町生活実態調査)	被差別体験を受けた(98件)＋出合った(11件)／対象件数(187件)	%	58.3 目標 ()	—	40

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

同和地区の環境改善は一応の成果があったが、就労、教育、福祉の課題や市民の心理的差別解消にいたっていない。そのため地域住民の生活福祉の向上のための助成と部落差別をなくす運動団体に支援を継続している。

評価	必要性	4	同和問題解決のため部落解放団体や個人を対象とした支援及び助成事業については、今後実施する生活実態調査の分析結果を考慮して検討していく。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	3		
				A